

報道関係者各位

株式会社コンピュータ・ニュース社

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-25-1

TEL 03-3818-2661 FAX 03-3818-3006

本件に関するお問い合わせは下記をお願いします。

BCN総研 井門 由香 (いもん ゆか)

<http://www.computernews.com/marketview>

16インチ登場で 液晶ディスプレイ市場盛り上がる

コンピュータの週刊専門紙である「BCN」(BUSINESSコンピュータニュース)を発行する株式会社コンピュータ・ニュース社(本社・東京都文京区、社長奥田喜久男)は、東名阪のパソコン大手販売会社13社(エイデン、大塚商会、ランド、グッドウィル、コンプ100満ポルト、コンプマート、CSKエレクトロニクス=T・ZONE、上新電機、スタンバイ、ソフマップ、九十九電機、ビックパソコン館、ニノミヤ、ワンダーコーポレーション=50音順)56店舗(2001年4月1日現在)の日次販売データをデイリーで収集し配信するBCNランキングを公表しています。このデータをもとに、BCNの市場調査部門であるBCN総研ではPCリテール市場の動向分析を行っています。

株式会社コンピュータ・ニュース社(本社・東京都文京区、社長・奥田喜久男)の市場調査部門であるBCN総研の調べによると、店頭ディスプレイ市場における液晶タイプの販売構成比率(台数ベース)が急速に伸び、3月には36.7%と、約4割に達していることがわかった。直近の週次データ(4月16日~4月22日)では40.3%を記録、4月には確実に4割を超える勢いである(図1)。

液晶ディスプレイの販売増加に大きく貢献しているのは、3月1日に発売されたナナオの「FlexScan L461」である。液晶ディスプレイの3月の機種別ランキングで13.2%のシェアを獲得、好調な立ち上がりを見せている。同製品は、16インチサイズで1280×1024ドット(SXGA)表示の液晶を搭載したディスプレイで、15インチモデルとの差別化を図っているのが特徴。価格は実勢価格で98,000円台とSXGA対応機種としては低価格になっていることが人気の理由とみられる。

15インチモデルの値下げも相次いでおり、3月の1台あたりの平均単価(総販売金額÷総販売台数)は89,753円と、前月に比べ4,639円低下している(図2)。CRTとの価格差は55,750円といまだ開きはあるが、今後はこの差も縮まると思われることから、液晶人気はさらに高まると予想される。

図1 ディスプレイ市場のタイプ別販売構成比率推移(月次)

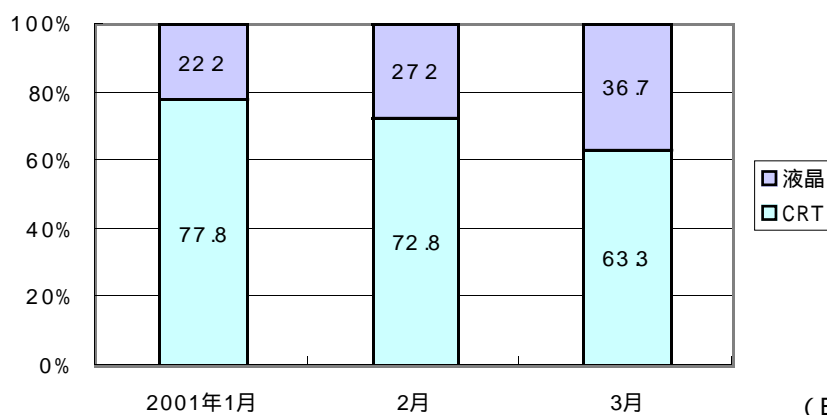
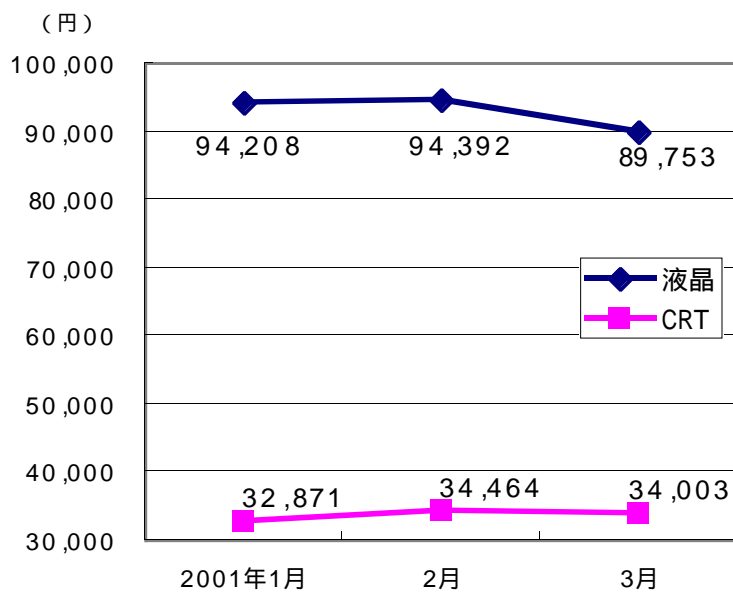


図2 タイプ別 1 台あたりの平均単価推移 (月次)



(BCNランキング)

* 本リリースについて、今後メールでの配信をご希望の方がいらっしゃれば、対応させていただきます。井門までご連絡下さい (imon@bcn.co.jp)。